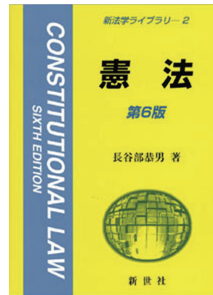




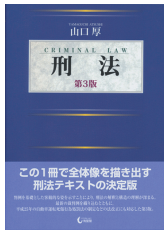
『憲法〔第6版〕』

芦部信喜／高橋和之補訂  
(岩波書店 本体¥3100)



『憲法〔第6版〕』

長谷部恭男  
(新世社 本体¥3350)



『刑法〔第3版〕』

山口 厚  
(有斐閣 本体¥3200)

- 4位 『判例刑法各論〔第6版〕』  
西田典之ほか(有斐閣 本体¥3500)
- 5位 『日本の思想(岩波新書)』  
丸山真男(岩波書店 本体¥740)
- 6位 『行政法1 行政法総論〔第5版補訂版〕』  
塩野 宏(有斐閣 本体¥2400)
- 7位 『人間の安全保障』  
高橋哲哉・山影 進編(東京大学出版会 本体¥2800)
- 8位 『法の概念〔第3版〕(ちくま学芸文庫)』  
H.L.A. ハート(長谷部恭男訳)(筑摩書房 本体¥1500)
- 9位 『刑法各論〔第6版〕(法学講座双書)』  
西田典之(弘文堂 本体¥4000)
- 10位 『刑法各論〔第2版〕』  
山口 厚(有斐閣 本体¥4000)

## 定番の 改訂版が 上位にランクイン

### 辻谷寛太郎

店長



#### ・今月のランキング

定番中の定番書籍が改訂となり、上位3位を占めています。5位の丸山真男『日本の思想』は法律書ではありませんが東大法学部枠で堂々のランクイン。7位の『人間の安全保障』は国際関係論の強い駒場ならではの一書です。8位のハート『法の概念』は長谷部恭男先生の最新訳で、文庫ながら上位をキープしています。

#### ・ランキング外の注目書籍

ランキング外では、「法哲学」関連新刊に注目したいと思います。瀧川裕英ほか『法哲学』(有斐閣 本体¥2800)や森村進『法哲学講義(筑摩選書)』(筑摩書房 本体¥1700)といった優れた概説書から、谷口功一『ショッピングモールの法哲学』(白水社 本体¥1900)や大屋雄裕『自由か、さもなくば幸福か?』(筑摩選書)』(筑摩書房 本体¥1500)といった井上達

夫門下の若き法哲学者による意欲作まで、刊行が相次ぎました。

#### ・店長から

文Iの1年生の必修科目に「法I」という科目があります。これは、いわば東大法学部進学者向けの「法学入門」です。かつては、法学部の大先生が本郷から講義に来ていたようです。碧海純一『法と社会(中公新書)』(中央公論新社 本体¥720)や星野英一『法学入門』(有斐閣 本体¥2300)もこの授業から生まれた名著です。団藤重光『法学の基礎〔第2版〕』(有斐閣 本体¥3600)、三ヶ月章『法学入門』(弘文堂 本体¥2240)、田中英夫編著『実定法学入門〔第3版〕』(東京大学出版会 本体¥2500)も同様で、今も色褪せてはいません。



次号の Bookstore's Voice は  
三省堂書店 明治大学駿河台売店